

兵庫県福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名 称	株式会社 第三者評価		
所 在 地	大阪市東淀川区東中島1-17-5 ステュディオ新大阪内		
評価実施期間	2011年8月5日 ～ 2012年2月8日(水)		
	実地訪問調査日 — 2段階調査方式		
	第2段階	2012年1月26日(木)	現場の保育サービスを中心に確認
	第1段階	2011年11月8日(火)	評価基準を中心に確認
評価 調査者	HF05-1-0098	吉山 浩	(リーダー)
	HF06-1-0019	山田 奈津美	(メンバー)
	HF10-1-0001	八巻 芳子	(報告書査読)

2 福祉サービス事業者 概要

事業所名称： 夢咲保育園	種 別： 第2種社会福祉事業 児童福祉施設 保育園
代表者氏名： 豊原 五月 園長 (窓口 福田 法子 主任)	開設年： 平成22年4月1日
経営主体： 社会福祉法人 夢工房	定 員： 60 名
所 在 地： 〒 659-0021 芦屋市春日町21番8号	
電話番号： 0797(34)9614	F A X 番号： 0797(25)9615
メール： yumesaki@yumekoubou.or.jp	http://www.yumekoubou.or.jp/hoiku/yumesaki/page1/main.html

3. 理念・方針等

保育理念：

子どもの最善の利益を考慮し、利用者主体を根幹に、行政、地域、保育園の緊密な連携を強化し、地域の子育て支援の核となる。

保育方針：

子どもは豊かに伸びていく可能性を秘めている。その子どもが現在を最も良く生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う。見るもの、聞くものに好奇心を誘発され、人に認められ、誉められ、喜ばれることにより、自分自身が生きている意味を、子どもなりに感じたり、愛情をたくさん注がれた「人間」の生きる力の大きさを大切にできる保育と、人から守られるだけでなく自立していく過程で、困難なことや悲しいことに立ち向かう勇気と気力を育てていくために、成長過程で課題を解決しようとする自立意欲を助長し、それを実践できる機会を大切に考えられる保育を目指す。

4 特に力を入れて取り組んでいる点

・アットホームな保育環境

まるでお家の様な保育園。

子ども一人ひとりの発達に合わせた玩具があり、ゆったり安心して過ごせるように各部屋の環境を工夫している。

・子育て支援

毎月年齢ごとに、日頃の保育の姿のビデオ上映、保育の取り組み、給食の試食会、子育ての悩み相談を開催している。乳児期の母親の抱える悩みを共感することで、子育てが楽しくなるようにしている。年間を通して、7～8割の参加率で保護者の方に好評を得ている。

・あそびの中の教育

日々の保育の中でいろいろな体験ができるように、絵画指導、リトミックを年間計画に取り入れ実践している。また、英語、体操、音楽は、専属講師の指導のもと、楽しく実践的取り入れられている。

・食育活動

クッキング、菜園活動、食育（三食食品分類、マナー、かむことの大切さ、五味についてなど）子どもたちにわかりやすく、食の大切さを伝えている。

・異年齢児交流

月に1度、3, 4, 5歳児混合のグループをつくり保育に取り組んでいる。1月より、異年齢児保育を週に2～3日行い、違う年齢のこどもたちと関わりを多くもつことで、人への「やさしさ」「いたわり」「感謝」を知り、更に成長できるようにしている。

アットホームな保育室



絵画・造形活動



クッキング



5. 園児の状況に関する事項 (平成24年1月1日現在)

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児
9名	10名	14名	15名
4歳児	5歳児		合計
14名	9名		71名

6. 職員の状況に関する事項 (平成24年1月1日現在)

	総数	園長	主任	副主任	保育士
常勤	18名	1名	1名	2名	12名
非常勤	1名	—	—	—	—
	栄養士	調理師	保健師		
常勤	1名	—	1名		
非常勤	—	1名	—		

7. 実習生の受け入れ

平成23年度 実習生の受け入れ人数 保育士 1人 (内訳 専門学校 1人)

8. ボランティアの受け入れ

平成23年度 ボランティアの受け入れ人数 1人 (内容 保育業務補助)

9. サービス利用者からの意見等の聴取について

- ・行事ごとに、アンケートを実施し、今後の取り組みに反映できるようにしている。
- ・園内に「ヤギさんポスト」(意見箱)を設置し、匿名で意見を言えるようにしている。

10. 評価結果

○ 総評

☆☆☆ 特に評価の高い点 ☆☆☆

- 1) 設立2年目の新しい保育園で、チャレンジ精神旺盛で、評価を受ける事をステップ・アップのチャンスと捉え、職員の強みを生かし、各人に責任を持たせ、底力を引き出し、チーム・ワークで和を結集し、まとめあげたマネジメント力
- 2) 「衛生管理マニュアル」の出来栄は、HACCP ハサップ（危害分析重要管理点）の概念を取り入れた超一級品で、丹念に、見直しを実施されていました
- 3) 働く母親からの評価が極めて高い点（アンケートで絶賛）

今後、さらに研究を深めてもらいたい点

保護者への周知は、重要な点を強調し、手を変え品を変え（方法論）、複数回（何度も）

試みて下さい。

第三者評価結果に対する事業者のコメント

開園2年目で第三者評価に取り組ませていただきました。

自園の強み、弱みが認識でき明確な目標をもって取り組む事が出来ました。

強みには更に磨きかけ、弱みを真摯に受け止め、計画的に取り組む実行していきたいと思えます。

- 各評価項目に係る第三者評価結果 (別紙1)
- 各評価項目に係る評価結果グラフ (別紙2)

評価細目の第三者評価結果

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針を確立している。		
I-1-(1)-①	理念を明文化している。	a
I-1-(1)-②	理念に基づく基本方針を明文化している。	a
I-1-(2) 理念や基本方針を周知している。		
I-1-(2)-①	理念や基本方針を職員及び利用者やその家族等に周知している。	a

特記事項

「パンフレット」、「入園のしおり」に理念、方針が記載してあり、玄関に掲示もされており、その内容から法人の信条や職員の行動規範が読み取れました。

全職員の保育手帳にも貼ってあり、職員会議等でも理解度を確認していると聞きましたので、訪問調査当日、各人の頭の中に刻み込まれているか否か、ランダム・サンプリングで数人の職員に確認しました。

また、入園式、懇親会等で、その主旨を保護者に説明しています。

I-2 計画の策定

		第三者評価結果
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画を明確にしている。		
I-2-(1)-①	中・長期計画を策定している。	a
I-2-(1)-②	中・長期計画を踏まえた事業計画を策定している。	a
I-2-(2) 計画を適切に策定している。		
I-2-(2)-①	計画の策定を組織的に行っている。	a
I-2-(2)-②	計画を職員や利用者に周知している。	a

特記事項

策定されていた「中・長期計画」を確認し、今年度の取組み事項、及び 3年後の保育園の姿をイメージ出来ました。また、その記載内容から、実現可能性、数値目標の妥当性の説明を受けました。

「中・長期計画」の作成過程より、関係職員の参画状況、意見の集約、反映の仕組み等、組織的な取り組みを確認し、職員会議での説明を「議事録」で確認しました。また、簡潔にまとめられた内容で保護者にも説明していました。

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
I-3-(1) 管理者の責任を明確にしている。		
I-3-(1)-①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a
I-3-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
I-3-(2) 管理者のリーダーシップを発揮している。		
I-3-(2)-①	質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	a
I-3-(2)-②	経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	a

特記事項

子育て真っ只中の生え抜きの若い園長は、園をリードする立場として自らの役割と責任を明らかにし、チャレンジ精神旺盛で職員の信頼のもとリーダーシップを発揮しています。

職員の長所を引き出す、それを組合す技量に並々ならぬものを感じました。

経営や業務の効果的運営、効率化にも法人本部の指導の下、真摯に取り組んでいました。

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
Ⅱ-1-(1)-①	事業経営をとりまく環境を的確に把握している。	a
Ⅱ-1-(1)-②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	a
Ⅱ-1-(1)-③	外部監査等を実施している。	a

特記事項

<p>芦屋の本部が主導で、毎月、経営環境・状況の把握・課題の解決を図るため、園長会が開催されていて、調査日には豊富な資料が用意されていました。</p> <p>確認した資料： 「外部監査資料」、「評議会ファイル」、「月次報告書」</p> <p>「芦屋市の保育所及び幼稚園のあり方について」、「小口現金集表」</p>
--

Ⅱ-2 人材の確保・養成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制を整備している。		
Ⅱ-2-(1)-①	必要な人材に関する具体的なプランを確立している。	a
Ⅱ-2-(1)-②	人事考課は客観的な基準に基づいて行っている。	a
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮している。		
Ⅱ-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みを構築している。	a
Ⅱ-2-(2)-②	福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制を確立している。		
Ⅱ-2-(3)-①	職員の教育・研修に関する基本姿勢を明示している。	a
Ⅱ-2-(3)-②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画を策定し、計画に基づいて具体的な取組を行っている。	a
Ⅱ-2-(3)-③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a
Ⅱ-2-(4) 実習生の受け入れを適切に行っている。		
Ⅱ-2-(4)-①	実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a
Ⅱ-2-(4)-②	実習生の育成について積極的な取組を行っている。	a

『人事制度運用マニュアル』、『考課要領（共通要素評価表、専門要素評価表）』、『面談記録等』を確認、評価結果が本人にフィードバックされる仕組みが機能しています。

職員の新規採用も、積極的に就職フェアに参加し、法人のアピールを行っている。

経験年数や職責に応じた研修計画を立て、職員教育を効果的に実施しています。

他「有給休暇管理簿」、「勤怠システム」、「超過勤務ファイル」を確認しました。

主たる職員で、2011年4-9月放映のNHK朝の連ドラ「おひさま」で取り上げられた「心に太陽を持って」（山本有三編著 新潮社）のまわし読みも行われていた。

また、平成23年度は、K専門学校から実習生1名を受け入れています。

II-3 安全管理

	第三者評価結果
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組を行っている。	
II-3-(1)-① 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制を整備し機能している。	a
II-3-(1)-② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a

特記事項

園長、主任を責任者として、職員総がかりで事故防止に取り組んでおり、組織的・継続的に未然防止策として「ヒヤリハット」の洗い出し、要因分析に力を入れて行っています。「遊具・園内安全点検」、「防災訓練」、「避難訓練」の記録を確認しました。

Ⅱ-4 地域との交流と連携

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係を適切に確保している。		
Ⅱ-4-(1)-①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a
Ⅱ-4-(1)-②	事業所が有する機能を地域に還元している。	a
Ⅱ-4-(1)-③	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携を確保している。		
Ⅱ-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている。	a
Ⅱ-4-(2)-②	関係機関等との連携を適切に行っている。	a
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
Ⅱ-4-(3)-①	地域の福祉ニーズを把握し、事業・活動を行っている。	a

特記事項

主任を中心にトライやるウィークで中高生の保育体験を受け入れたり、地域の子育て家庭に対し、子育て支援や、毎週水曜日に、園庭開放を行い、園行事の開放と地域行事への参加は、積極的に行われています。12月、近隣のM工場でクッキーやビスケットを作っているのを見学しています。

平成23年度は、ボランティア1名を受け入れています。

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢を明示している。	
Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。	
Ⅲ-1-(2)-①利用者の意向の把握と満足の向上への活用に取り組んでいる。	a
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制を確保している。	
Ⅲ-1-(3)-① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a
Ⅲ-1-(3)-② 苦情解決の仕組みを確立し十分に周知・機能している。	a
Ⅲ-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a

特記事項

子どもの人格を尊重した保育は、理念にも明示され、保育課程や指導計画に反映されている。職員の行動規範として職会等で繰り返し取り上げ、共通の認識をもつよう努めている。プライバシー(羞恥心に配慮)保護に関する規程・マニュアル等は整備され、保育上の配慮し、設備上の工夫もされている。職員には誓約書の提出を求め徹底を図っています。

保護者の満足度や意見・要望について、さまざまな機会を捉え把握し、要望に応える努力をしている。また、園に対する苦情や要望、意見の申し出に関して、書面や説明を通して保護者に知らせ、園の職員、第三者委員を含む複数の窓口を設け対応し、可能な限り、ホームページにても苦情の可視化、対応状況の公開を行っています。開園後2年間で寄せられた大きな苦情なし。

今回、評価機関のルールに沿って保護者アンケート(時期 8月)を実施、(園児 71人、総家庭数 56家族、アンケート回収 54件、回収率 96.4%)、保護者の高い満足度を示していました。(別添 アンケート結果-参照)

Ⅲ-2 サービスの質の確保

	第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取組を組織的に行っている。	
Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a
Ⅲ-2-(1)-② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a
Ⅲ-2-(1)-③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	a
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法を確立している。	
Ⅲ-2-(2)-① 個々のサービスについて標準的な実施方法を文書化しサービスを提供している。	a
Ⅲ-2-(2)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みを確立している。	a
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録を適切に行っている。	
Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関するサービス実施状況の記録を適切に行っている。	a
Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制を確立している。	a
Ⅲ-2-(3)-③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a

特記事項

主な園行事の開催後には、保護者に対するアンケートを実施しており、寄せられた意見や要望については、集計・分析し、結果と園からの回答を、今後の保育や次年度の計画に反映させるようにしています。家庭環境が多様化していく中で、全ての保護者の意見や要望を受け入れ、100%の満足度にすることは不可能ですが、より多くの保護者から支持を得られるよう、今後も行事のあり方などを見直していく考えを持っています。また、2011年8月実施の保護者アンケートに対する「改善計画書」も確認しました。

「標準的な保育サービスのマニュアル」、「きりんのへや・活動マニュアル」、「個人情報保護規定」、「利用者情報保護誓約書（平成20年. 10. 26付け Yさん分）」等を確認しました。

主任は異動等もあって、幸いにも今回で早くも3度目の受審となり、評価基準の理解度が高いレベルに達しています。

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

	第三者評価結果
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始を適切に行っている。	
Ⅲ-3-(1)-① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a
Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	
Ⅲ-3-(2)-① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a

特記事項

「パンフレット」、「入園のしおり」等の配付、玄関等への張り紙、ホームページにても必要と思われる情報は提供しています。また、随時、見学、体験を受け入れ説明も実施しています。

また、保護者の同意を示す「入園同意書」も確認しました。

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

	第三者評価結果
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントを行っている。	
Ⅲ-4-(1)-① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a
Ⅲ-4-(1)-② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	a
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画を策定している。	
Ⅲ-4-(2)-① サービス実施計画を適切に策定している。	a
Ⅲ-4-(2)-② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a

特記事項

「児童票」、「年間指導計画」、「月案」、「週案」、「日案」にて個々の子どもの発達状況を把握し、1年を4期に分けて達成状況を管理しています。計画の見直しも、「省察欄」等を活用し、適宜実施しています。

子どもの目標への到達時期は、1期(赤)、2期(緑)、3期(黄)、4期(青)と色で区分し、次に生かす仕組みが機能しています。

訪問評価当日1/26 (木) 午前中、評価員は、①1才・りす組 ②2才・うさぎ組

③4才・きりん組 ④5才・らいおん組 の4つのクラスの保育サービスの実施状況を「保育サービス・チェックリスト」に沿って確認しました。

評価対象Ⅳ 実施する福祉サービスの内容

Ⅳ－１ 子どもの発達援助

	第三者評価結果
Ⅳ-1-(1) 発達援助の基本	
Ⅳ-1-(1)-① 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成している。	a
Ⅳ-1-(1)-② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a
Ⅳ-1-(2) 健康管理・食事	
Ⅳ-1-(2)-① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a
Ⅳ-1-(2)-② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
Ⅳ-1-(2)-③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映している。	a
Ⅳ-1-(2)-④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a
Ⅳ-1-(2)-⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
Ⅳ-1-(2)-⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a
Ⅳ-1-(2)-⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
Ⅳ-1-(2)-⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
Ⅳ-1-(3) 保育環境	
Ⅳ-1-(3)-① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
Ⅳ-1-(3)-② 生活の場に相応しい環境とする取組を行っている。	a
Ⅳ-1-(4) 保育内容	
Ⅳ-1-(4)-① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a
Ⅳ-1-(4)-② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a
Ⅳ-1-(4)-③ 子どもが自発的に活動できる環境を整備している。	a
Ⅳ-1-(4)-④ 身近な自然や社会とかかわれるような取組を行っている。	a
Ⅳ-1-(4)-⑤ さまざまな表現活動が体験できるように配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑨ 乳児保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑪ チャレンジド保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a

当日 1/26 (木) の献立は、二色あげ (カレー味のソーセージ天麩羅、竹輪の天麩羅)、もやしのいろとりあえ、小松菜の味噌汁、午後のおやつは、ばななヨーグルトでした。保護者アンケート結果が示すように食事はおいしかったです。

また、「衛生管理マニュアル」の出来えは、HACCP ハサップ (危害分析重要管理点) の概念を取り入れた超一級品で、丹念に、見直しが実施されていました。

献立表は、園だよりと共に保護者に、前月下旬に配布され、豊富なメニューです。

保育士の関わりは、子ども達を目線に立ち、丁寧で暖かく受容しており、人権に配慮した保育がなされています。子どもの発達段階に応じた玩具・遊具が用意され、自分で取り出し自由に遊べるよう整理整頓が為されています。特に、絵画指導は本格的で子どもが持つ創造性を広げようとされています。道具箱には、粘土・クレパス・のり・はさみ等が用意され、自由に使えるように工夫されています。

入り口に設定されているデジタルフォトフレームでは、その日、子どもが垣間見せた笑顔を再度見る事が出来ます。

2011年8月実施の保護者アンケート結果 (自由記述部分) より 食、保育に関して一部抜粋

- ① 子供のアレルギーに丁寧に対応して頂いており、大変感謝しています。
 - ② 給食 や おやつ もおいしいです。
 - ③ 子供は料理好きなので、食育やクッキングを定期的にしてくれるのが気に入ってます。
 - ④ 異年齢児間の交流が活発で良い刺激になっています。3～5歳児はランチルームで昼食をとっており、低年齢の子のお世話をしあげたりと、とても良いと思います。
-
- A 清潔感があり、自主性や自尊心、またその子の個性がのびるように心がけしてくれている。
 - B 子供が自由に遊べたり、異なる年齢の子供とも触れ合う機会が多いと感じます。
 - C 色々と遊びに工夫が感じられ、子供がイキイキ過ごせているような思い感謝しています。

IV-2 子育て支援

	第三者評価結果
IV-2-(1) 入所児童の保護者等への育児支援	
IV-2-(1)-① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a
IV-2-(1)-② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。	a
IV-2-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a
IV-2-(1)-④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	a
IV-2-(1)-⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a
IV-2-(1)-⑥ 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a

特記事項

保護者との個別面談に加え、「引き継ぎ表」、「連絡帳」、「Todays Memory」、園長による子育て会等、保護者と密な話し合いを実施しています。
 一時保育児童の保護者とも、登降園時の情報交換を積極的に実施しており、保育士が子育て相談に対応してます。
 虐待に関するマニュアルを整備し、子どもの様子に疑問等がある場合は、即座に職員間で情報交換する体制を整備している。

2011年8月実施の保護者アンケート結果（自由記述部分）より 子育て支援 一部抜粋

- ① 延長保育で20時まであり助かります。また送迎の時間にも柔軟に対応、安心して預けれます
- ② 臨機応変に迅速に対応してくれる柔軟な園です。
- ③ 働く保護者にとっても配慮して下さっています。
- ④ 先生が笑顔で楽しく働かれているので、子供達を安心して預けることができます。
- ⑤ 今後も、今まで同様に、私も含め、女性が社会に進出し、活躍し続けられる基盤と
 なって欲しいと思います。

IV-3 安全・事故防止

	第三者評価結果
IV-3-(1) 安全・事故防止	
IV-3-(1)-① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施している。	a
IV-3-(1)-② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知している。	a
IV-3-(1)-③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	a
IV-3-(1)-④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	a
IV-3-(1)-⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	a

特記事項

『衛生管理マニュアル』、『保育安全マニュアル』、『防災・避難訓練マニュアル』を作成し、毎日、「施設・遊具安全チェックリスト」にて点検を実施しています。

屋上の園庭、外構、駐車場、門扉、調理室等、安全面を目視確認しました。

防犯セキュリティ面では、監視カメラの画像の写り具合、県警ホットラインを確認しました。